

流域治水プロジェクト推進を担う施工技術等 ⑪

日本初！砂防堰堤工事における自動化施工

- 工事名
赤谷3号砂防堰堤工事
- 施工者
鹿島建設株式会社
- 施工箇所
奈良県五條市^{おおとうちょう しみず}大塔町清水地先
- 発注者
近畿地方整備局 紀伊山系砂防事務所

紀伊半島大水害より10年
-あの日の災害を忘れない-

位置図



奈良県五條市
大塔町清水地先

<工事概要>

紀伊山系 赤谷地区において、平成23年台風12号(紀伊半島大水害)により約1,100万m³の土砂が深層崩壊が発生しました。土砂堆積による河道閉塞箇所の安定化を図るための堰堤整備を推進します。

・3号砂防堰堤基本諸元 堤高 H=14.5m、堤長 L=125.0m

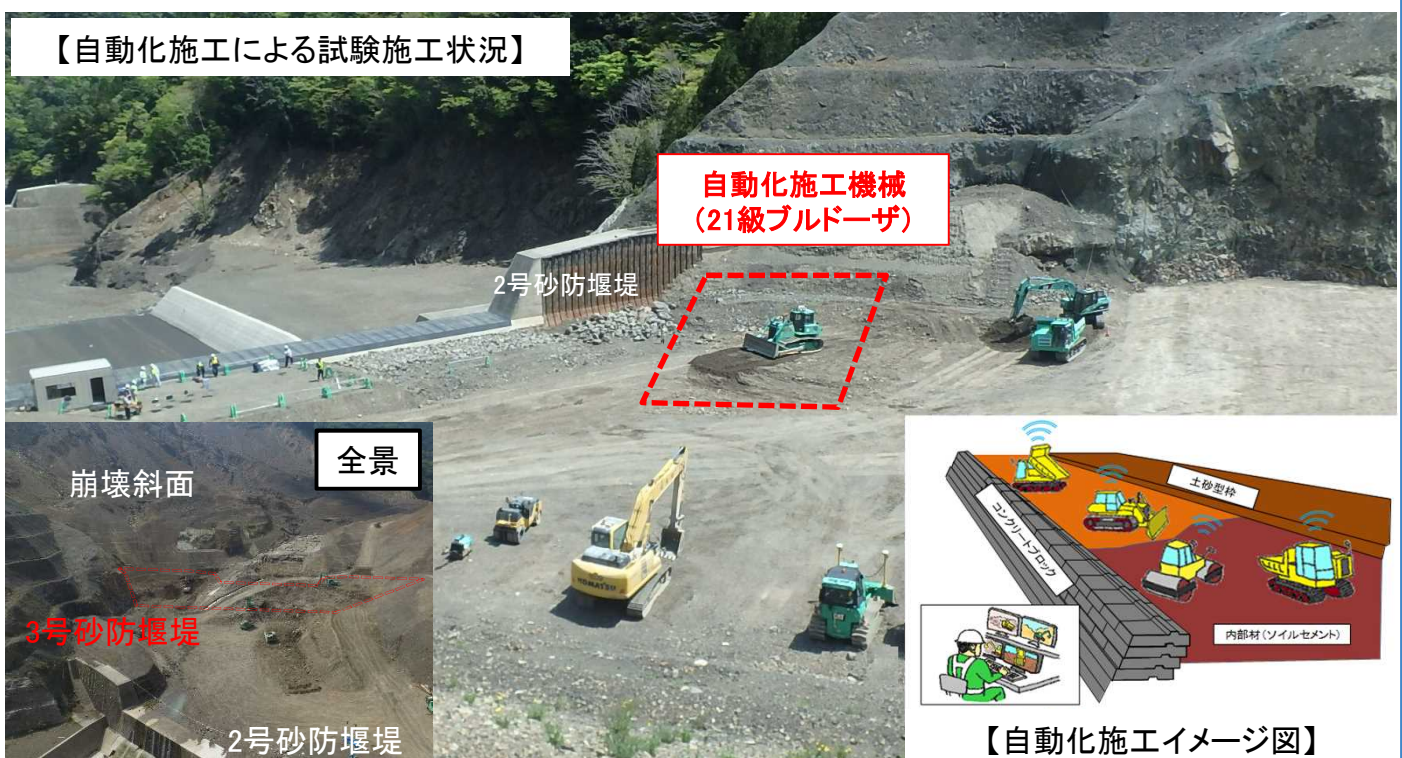
<技術の特徴>

本工事は、深層崩壊後、数十万m³規模の再崩落を3回繰り返した非常に危険な斜面直下での堰堤構築であるため、出水期間中の施工は、日本初となる自動化施工技術を導入して工事を実施します。

自動化施工は、事前に定めたプログラムに従い、重機が自動で工事を進める最新技術であり、以下の作業に適用することで、生産性向上や省力化が期待できます。

- ・自動化施工によるコンクリートブロック(外部保護材)設置作業
- ・自動化施工によるソイルセメント(内部材)敷均し・転圧作業

【自動化施工による試験施工状況】



【自動化施工イメージ図】